



だんだん便り

2024. 2月 4日

No. 69

1月6日 松江市消防出初式



寒風の中を上定昭仁市長(管理者)や松浦嘉昭消防団長の検閲に対し先頭を切って分列行進をする女性消防団カメラ隊の皆さん。消防本部職員や消防団人 510 人が「国びきメッセ」に集い、市民の安全を守る誓いを新たにしました。また、その後松江城の堀りからの放水演技と雄姿を披露しました。

立ち上がれ能登

穏やかな新年を迎えた元旦の夕方 16 時 10 分ごろテレビの画面に緊急ニュースが流れ、能登半島沖で発生した地震を知った。とっさに東日本大震災の記憶がよみがえらなかった人はいなかったろう。地震の被害は複合的な大災害になった。実態を確認できない中で津波と地震による揺れや建物倒壊への注意喚起は適切であったと思うが、ただ地震による道路の寸断で救援に入れなかったり遅れたりして、被害が広がった。また不運にも、誘導に従い、先を急ぎ、避難時の安全確保の不備を突いて大火が発生し、消防が出動できず、加えて断水のため消火栓が使えず多くの家屋が焼失してしまった。

●災害地への救援は、関係自治体や関係機関の対応は素早かったが、救援を受け入れる対応が、海岸と急斜面な山や谷の狭い地形で、道路はもちろん、水道や電気ガスなどの生活インフラの破壊が救援を遅らせた。犠牲者も 230 人を超え、安否不明者もまだ 10 人を超える人がいる。1 か月近くになろうとしているが未だ十分な支援が出来ない状況にもどかしさを感じる。

●この地震で、被害が多かった珠洲市は、旧美保関町と昭和 63 年に姉妹都市提携を結び、合併後も松江市が友好姉妹都市提携活動を行っている。松江市においても、防災専門官、土木技術員、一般事務員などを応援派遣した。その後も、計画的に専門分野の職員派遣を行っている。今後も復興のために関連事業へたゆまない支援を計画している。

●今回の災害による対応で、避難所の確保やインフラ破壊で断水と給水対応が被災者への課題となった。その中で、必死に事業の再開や生活復興に取り組まれる方々の姿は遅く映る。松江市も令和 3 年 4 月 1 日に加賀の大火を経験しているが、復興には長い年月を要した。国の支援はもとより国民の救済力が試されるところである。市議会でも、珠洲市へ全議員併せ義援金 100 万円を送っているが、さらに検証し、尊い教訓としたい。

令和6年もよろしくお願いします。

令和 5 年 11 月議会のご報告をします(11/28~12/20 まで)

コロナ感染症も少しずつ収まり、人の流れも戻りつつある中で、明るさを取り戻す 11 月議会になりました。しかしながら、10 月 7 日に始まったイスラエルとパレスチナ・ハマスとの戦争で更に世界情勢は混沌としてきました。依然として燃料・食料品等物価高に対する高騰対策の支援や、国が決めた住民税非課税世帯に対する 1 世帯当り 7 万円の追加給付案件などを審議しました。また、9 月議会で審議が継続になっていた「議第 91 号・松江市ガス事業譲渡先選定委員会条例の制定について」はガス事業協力関係事業者との合意がなされる方向にあり議会において、賛成多数で承認可決しました。その他条例案件、単行案件(指定管理案含む)、予算案件、報告案件など 69 件を賛成多数で議決いたしました。

一般会計補正予算第 6 号総額約 21 億 5,815.4 万円と

第 7 号は 18 億 6,926 万円を追加

補正後の一般会計総予算額約 1,138 億 5,529 万円

(1) 補正予算 第6号 追加補正 21 億 5,816 万円

★コロナ感染症対策、電力・ガス・食料品等価格高騰対策 2 億 151 万円

①地域の事業者を支援

- ・宿泊施設の高付加価値化のための改修を支援 (3 事業)・・・1 億円
- ・エネルギー価格の高騰の影響を受けた指定管理者の支援・3,112 万円

★その他の政策的事業 2 億 2,664 万円

②ひとづくり

- ・ワーク・ライフ・バランス・子育て支援(雨の日で遊べる空間の充実事業・保健福祉総合センター2階 わいわいルーム)・・・105 万円



すべり台、はしご、
ボルダリング用ボードなど

【寄付金】明治安田生命
保険相互会社 105 万円

③つながりづくり(スサノオマジックのホームアリーナ改修)債務負担行為

- ・プロスポーツ振興による地域活性化(アリーナである松江市総合体育館の新 B1 リーグ入会基準適合のための改修と、改修後の施設維持管理や運営について一体としての事業実施するため)の債務負担行為について、スポンサー企業「バンダイナムコ」の、企業版ふるさと納税制度での支援を確約のもと推進する・・・42 億 2,247 万円

④どだいづくり

- ・新庁舎建設事業における原材料・建設価格の上昇、労務単価の改定に伴う「スライド条項」適用による事業費増額見込みの建築主体工事の補正・・・1 億 690 万円

⑤災害復旧

- ・令和 3 年及び令和 5 年に発生した大雨災害によって被災した箇所の復旧工事業費・・・4,735 万円

⑥その他(職員人件費の増額、燃料高騰等に伴う公共施設の電気・ガス料金の増額対応)・・・7,134 万円

(2) 補正予算 第7号 18 億 6,926 万円

★物価高騰対策 15 億 3,251 万円

①住民税非課税世帯に1世帯当たり7万円を追加給付・15 億 2,250 万円



★1月30日から給付を開始
しています
(給付は推計21,000世帯)

コピー

②燃料価格高騰の影響を受ける交通事業者へ支援 (一畑電車、
バス事業者タクシー事業者へ燃料費の一部支援).....1,001 万円

③職員の給与改定に伴う補正予算(職員人件費).....3 億 146 万円

施設の管理者が変わいます

本議会では公設民営事業を行っている事業で、26 号議案・指定管理者の
継続認定とB&G 宍道海洋センターの指定管理者移動や大谷小学校を民間
譲渡での活用等を議決しました。

B&G は指定管理者が株式会社来待湯治村から **R6.4 月 1 日株式会社**
SKSS(さんびる健康スポーツセンター)へ (営業は今まで通りです)



SKSS はテルサスポーツクラブや松江海洋
センター、道の駅秋鹿なごさ公園なども運
営し、スポーツ事業に精通しています。



イベントチラシ



玉湯大谷小学校は一般社団法人・大
谷ひはの杜(もり)へ R6.1 月 15 日無
償譲渡へ。(大谷地区は音楽やホテルのタ
ベなどで地域活性化に取り組んでいます)

1 月 8 日 はたちの集い(くにびきメッセ)



コロナ禍も収まり、今年は、午前・午後の 2 部制の集いでしたが、一部制
に戻りました。対象者は 1,921 名であったが 75.1%の 1,441 名の参加で
した。ビデオメッセージ・ゲストで有名ピアニストトリオ「オモイノタケ」さん
などが映像エールを送った。(昨年は参加率 70.1%の 1,450 名であった)

発行元：川島みつまさ(光雅)後援会

〒699-0408 松江市宍道町昭和 120

電話：0852-66-3007 FAX:66-0523

発行日：令和 5 年 2 月 4 日(日)

市政について、
何でもお気軽に
「意見」を要望を
お寄せください

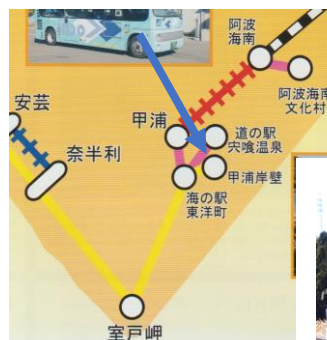
総合交通対策特別委員会視察報告

1 月 10 日 岡山県矢掛町井原線利用促進無料観光バス



山陽道の宿場町矢掛町は井原線を 2 次交通対策利用して無料
観光バス周遊コースで誘客。令和5年度は 117 人受入れ。マイク
ロツーリズム(近距離観光)の先駆けとして注目。「水車の里フル
ーツピアヤ」「道の駅やかげ宿」「商店街散策」などをリピーター
が多い。一畑電車なども活用策になる可能性あり。(左から錦織
伸行、山根宏、川島光雅、原田守、海徳邦彦、米田ときこ各議員)

1 月 11 日 世界初の DMV(バスと鉄道が合体)を現地視察



徳島県阿佐海岸鉄道
阿佐東線・海陽町～
東陽町(穴喰温泉あり)



バスモードと鉄道モードの切替



道路と鉄道を走り利用客の利
便を図り、住民の生活を支え
る。前輪が線路を後輪はタイ
ヤで線路の上を走る。道路走
は前輪を引っ込めタイヤに変わる。

令和 3 年 12 月 25 日運行スタート！平日ルートは 15km、休日
は室戸岬まで運行の 50km。交通機能維持と経済波及効果！

議会では議員定数のあり方を検討しております

11月議会に設置された議員定数等調査特別委員会(9人)では、
適正な議員定数などについて調査及び検討を行うことを目的に、議
論を 4 回行っています。平成24年に合併特例法(東出雲町の合併)によ
って2人増えて36名になっていました。議員定数を「市民の意見を十分に
聴いて市政に反映させることが重要である」として平成25年の選挙から
は現在の34名に決めました。今回も市民の声を聞きながら、適正な議
員定数を検討しておりますが、各委員からは定数現状維持から～30名
まで様々な意見に分かれている現状で、市民意見の聴取が必要です。

《川島議員の一言メモ》

1 月中旬に不注意から、2 回目のコロナウ
イルス感染症になってしまいました。コロナ
が収まりつつあると言っても、手洗いうがい
は必須であると改めて認識しました。

